支援活動の概略（フェーズ1）

①活動内容/期間

・外国人避難対応施設運営/4月15日(金)1:00～22:00

16日(土)4:00～4月30日(土)22:00(24H連続運営)

・災害多言語支援センター

フェーズ1　4月20日(水)　～　5月5日(木)

・外国人被災者のための生活相談会/5月1日(日)

日	曜日	時間	経過内容
4月14日	木	21:26	前震　M6.5　熊本市内震度6弱(県内最大震度7)
4月15日	金	1:00	国際交流会館外国人対応避難施設開設　通常運営中止
			避難者　韓国人3人、日本人１人
		22:00	閉館
4月16日	土	1:25	本震M7.3　熊本市内震度6強　ガス、水道ストップ
		4:00	国際交流会館外国人対応避難施設開設　公共交通機関ストップ
			海外からの旅行者、マスコミが殺到
			最大避難宿泊者数　147人(うち外国人38人を含む)
4月17日	日		・各国の駐日大使館や領事館がバス手配等自国民を支援 ・外国人被災宿泊者への聞き取り調査実施
4月19日	火		JR　熊本駅～博多駅間が一部開通
4月20日	水		災害多言語支援センター開設
			九州ブロック地域国際協会、タブマネ全国協議会よりスタッフ派遣
		PM	避難所巡回開始
4月23日	土		熊本市国際課との定例会議を開始(1回/日)→災害情報の多言語化
4月24日	日		駐日フィリピン領事館による相談会開催
4月26日	火		外国人被災者のための相談会準備開始
4月28日	木		自治体国際化協会より視察
4月29日	金		駐日アメリカ大使視察
4月30日	土		外国避難対応施設公式閉鎖に伴う炊き出し終了
5月　1日	日	11:00	第1回外国人被災者のための生活相談会開催
5月　3日	火		外国人被災宿泊者の自立支援終了
5月　5日	木		災害多言語支援センター第１フェーズ終了

支援活動の概略（フェーズ2）

①活動内容/期間

・災害多言語支援センター

フェーズ２　5月6日(金)　～　11月30日(水)

＊12月1日からは、KIFの多文化共生まちづくり事業の一環として個別対応

・外国人被災者のための生活相談会　5月8日(日)、31日(火)、6月12日(日)

＊フェーズ1　5月1日(日)の第1回から計4回実施

・外国人コミュニティ会議/5月22日(日)、8月21日(日)

・地震セミナー/7月16日(土)

・熊本地震！外国人被災者支援活動報告会／10月10日(月)

日	曜日	時間	経過内容
5月　6日	金		災害多言語支援センター　フェーズ2開始(KIFでの単独運営)
5月　8日	日	10:00	第2回外国人被災者のための生活相談会開催
		14:00	今後の被災外国人支援についての会議開催 (多文化共生マネージャー、熊大、熊本県、KIF)
5月18日	木	13:00	総務省より来館、外国人被災者への情報提供についてヒアリング
5月23日	月	13:30	平成28年度地域国際化協会連絡協議会総会(東京)にて、熊本地震の状況報告
5月31日	火	11:00	第3回外国人被災者のための生活相談会開催(熊本大学・黒髪)
6月12日	日	11:00	第4回外国人被災者のための生活相談会開催
6月26日	日	11:00	国際交流で、熊本城復旧を応援するチャリティ音楽会開催
7月　3日	日	13:30	コムスタカ～外国人と共に生きる会～主催の熊本地震！外国人被災者支援活動の歩みと課題を考えるシンポジウムで国際交流会館での避難施設運営について報告(パレア)
7月　9日	土	13:00	第1回こころのケアセミナー(震災後子どもの反応と発達からの理解)開催
7月16日	土	13:30	外国人のための防災セミナー開催
7月21日	木	18:30	熊本大学留学生による熊本地震体験をとおしてのグランドチャレンジワークショップ開催(パレア)
8月17日~ 8月21日			KEQP(熊本県立大学、大阪大学、横浜国立大学による協働で実施する多文化共生社会構築のための熊本地震プロジェクト)で、共同調査を実施
9月16日~ 9月20日			グローバルワークキャンプin諫早(今年度の大学生のワークキャンプでは熊本地震をテーマとして、20日に熊本城、益城町の被災地視察を実施)
9月22日	木	10:00	第2回こころのケアセミナー(パパママ子どものためのティータイムセッション)開催
10月10日	月	13:00	熊本地震！外国人被災者支援活動報告会開催
10月11日	火	9:30	文化庁日本語教育スタートアッププログラム熊本キックオフ会議開催
10月25日	日	14:00	平成28年度九州地区地域国際化協会連絡協議会総会にて、熊本地震の状況報告
11月　5日	土	10:00	第3回こころのケアセミナー(震災後の子どものトラウマの理解と心の手当セミナー)開催
11月30日	水		災害多言語支援センター閉鎖(第2フェーズ終了)
12月　1日~	木		多文化共生まちづくり事業の一環として個別案件に対応

＊7月頃より全国の自治体、国際交流協会、大学等からの熊本地震での外国人被災者支援活動報告依頼に対応し20箇所以上を訪問、報告(12月現在)